

平成20年度

事業計画書及び収支予算書

平成20年 4月 1日から

平成21年 3月31日まで

社団法人日本パブリックゴルフ場事業協会

平成20年度事業計画書及び収支予算書目次

	頁
平成 20 年度事業計画書	1
平成 20 年度収支予算書	13
平成 20 年度収支予算書説明	20
平成 20 年度収支予算書収支ダイジェスト	30

平成20年度事業計画書

社団法人日本パブリックゴルフ場事業協会

I. ゴルフ業界の概況と基本方針

1. 日本経済の現状とゴルフ業界の概況

日本の景気はエネルギー・原材料価格高の影響等から減速の状況にある。我が国最大のスポーツ産業であるゴルフ業界の現状はやや明るさが見えはじめた。全国ゴルフ場入場者数は、平成17年8,605万名（前年比74万名、0.9%増加）、平成18年8,824万名（前年比219万名2.5%増加）と2年間伸び率は低いものの増加に転じた。本格的な反転と言えるほどの強い動きではないもののやや明るさが見えはじめ今後に期待される場所である。今後入場者数がどのように回復するかが業界の最大の課題であるが、長期的展望は少子高齢化の加速や人口減から、市場規模は縮小化の方向にあり、引き続き経営環境は厳しいと予想する。

この様な状況下、新規ゴルファーの育成、需要創出が喫緊の課題であり、ゴルフ業界は一層連携を強化しゴルフ市場活性化に向けた活動をすべきであり、当協会も活性化に向けた様々な取組みを推進したいと考えている。

2. 当協会の事業目的

当協会は昨年創立45周年を迎えたが今後とも国民スポーツのゴルフの振興を通じて、国民の健康の保持増進、余暇活動の充実、青少年の健全な育成、並びに豊かな国民生活の実現に貢献したいと考えている。わが国のゴルフ競技人口は約1,000万人と言われ、正にゴルフは国民的、競技性のあるスポーツとして、充実した余暇活動の一助として男女を問わずジュニアから高齢者に至るまで幅広く愛されている。今後ますます高齢化社会が進んでいく中において「余暇活動の充実」「健康増進」は非常に重要なテーマであり、ゴルフは正に格好の「生涯スポーツ」として支持されている。

当協会は、次を事業目的として活動する。

- (1) 競技会の開催を通じてゴルフ振興、国民の心身の健全発達に資する。
- (2) ゴルフを通じて高齢者の健康保持増進に資する。
- (3) ゴルフを通じて青少年の健全な育成に資する。
- (4) ゴルファーの育成、底辺拡大施策の推進
- (5) JGAハンディキャップの普及推進、並びにアンダーハンディ競技の活性化
- (6) ゴルフ事業に関する調査・研究および報告、並びにセミナー・研修会の開催、参加
- (7) ゴルフ市場活性化に向けた業界他団体との連携、交流

3. 会員コースの勧誘活動

当協会の事業活動の強化のため会員（平成15年度末現在85会員）の加入促進を、平成16年度以降当面正会員100事業所を目標に入会促進活動を推進してきた。平成16年度から19年度間の入会は18会員、一方種々の事情から退会を余儀なくされた会員は15会員、平成20年3月末現在正会員数は88会員となっている。業界事情を

反映して一進一退の厳しい状況ではあるが、今後も念願の正会員100事業所の達成に向けて積極的に勧誘活動を推進する。

II.平成20年度事業計画

■1.競技会の開催を通じてゴルフ振興、国民の心身の健全発達に資する。

当協会主催競技会の参加資格は、（１）ハンディキャップ20.0程度以上の方、（２）アマチュアゴルファーである、の2点です。言わばアマチュアゴルファーであれば、誰もが日頃の研鑽の腕試しの場として出場できる門戸の開かれた競技会です。国民へのゴルフ振興は当協会の存立基盤であり、その趣旨に沿った競技会の開催を指向する。

1.主催競技会

競 技 (略 称)	平成19年度 参加人数 (名)
1.第42回 全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技（パ選）	8,794
2.第8回 全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技（女子パ選）	1,081
3.第14回 全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技（シニア）	2,047
4.第14回 全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技（女子シニア）	450
5.第5回 全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技（ミッドシニア）	1,067
6.第2回 全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技（ミッドアマ）	5,060
7.いきいきゴルフ300歳大会：団体戦、個人選	1,216
8.アンダーハンディ競技：PGS スポンサー杯、PGS ハンディ杯	6,910
9.PGS月例杯	11,413
合計	38,038

2.平成20年度競技会の充実・改善施策

（１）パブリック選手権（男子）西日本の中国・四国・九州地区決勝大会を1日から2日間競技に変更し、他地区の地区決勝と統一を図り競技レベルの均一化を図る。

(2) パブリック選手権東日本地区決勝（男子）は従来A・Bの2地区制であったが、新たにC地区決勝を新設し3地区決勝制とする。競技の円滑な開催と地区決勝、並びに全日本への出場チャンスの拡大を図る。

(3) 昨年度新設した全日本ミッドアマ選手権競技は大変好評であり、本年度は他の競技同様に地区決勝（東・中部・西日本の3地区決勝：2日間競技）を新設し競技の充実を図る。

(4) 従来のパブリック選手権競技全道地区大会を改め、プレーシーズン等を考慮し今後は「北海道・青森地区決勝」として予選～地区決勝をスタートする。開催競技はパ選男子・女子、シニア男子、ミッドアマ男子の4競技とする。

(5) 平成20年度 PGS 競技の高反発クラブ規制

平成20年1月1日よりゴルフ規則が改正されたが、これに伴い当協会競技に関して適合ドライバーヘッドリストを競技の条件とした。従って、当協会競技は適合ドライバーヘッドリストに記載のドライバー以外は使用禁止とし、これに違反した場合競技失格とする。

(6) 平成19年度第41回全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技より、西日本地区の地区決勝を従来の1地区決勝から4地区決勝制（関西、中国、四国、九州地区）にしたが、これに伴い各地区連盟より次の通りシード権が付与された。

地区決勝	主催団体	シード権の内容		対象	備考
西日本中国	中国ゴルフ連盟	翌年度	中国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	当該地区居住者
西日本四国	四国ゴルフ連盟	翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	
		翌年度	四国アマチュアゴルフ選手権予選	2～3位	
西日本九州	九州ゴルフ連盟	翌年度	九州アマチュアゴルフ選手権決勝	1位	
		翌年度	九州アマチュアゴルフ選手権予選	2～5位	

(7) パブリック選手権競技東日本地区（男子）の3地区決勝各上位入賞者2名に、日刊スポーツ新聞社主催の「日刊アマゴルフ全日本シングルプレーヤーズゴルフ選手権関東決勝大会」のシード権が付与された。

3. 競技会開催要項

(1) 参加資格

競技	参加資格	年齢資格
1. パ選	1. ハンディキャップ20.0程度以上の力量のある者。 2. 日本ゴルフ協会ゴルフ規則に規定されたアマチュアゴルファー。	なし。
2. 女子パ選		
3. シニア		男子55歳以上。
4. 女子シニア		女子50歳以上。
5. ミッドシニア		男子65歳以上。

6.ミッドアマ	3.高等学校までに在学の生徒は、学校長等責任者の参加許可証の提出が必要。	男子、女子共30歳以上。
7.いきいきゴルフ300歳大会 団体戦 (いきいきゴルフ300歳大会) 個人戦 (エイジシューティング大会)	1.団体戦：男女とも65歳以上で 金さん組：4名の年齢合計が300歳以上。 銀さん組：4名の年齢合計が260歳以上300歳未満。 2.個人戦：男女とも65歳以上。	65歳以上。
8.アンダーハンディ競技 PGS スポンサー杯 PGS ハンディ杯	PGS会員でJGA (PGS)ハンディキャップの取得者。	なし。
9.PGS月例杯		

(注) PGS会員：ハンディキャップの取得を目的とした当協会の会員で誰でも会員になれる。

(2)競技会開催要項

①平成20年度第42回全日本パブリックアマチュアゴルフ選手権競技の開催

パブリック選手権はアマチュアゴルファーにとってトップアマへの登竜門であり、誰でも参加できる開かれた桜舞台である。参加人数(予選エントリー人数)は、平成14年度から平成18年度の間は毎年1万名を超えるビッグ大会に成長したが、平成19年は残念ながら1万名の大台割れとなった。(参加者人数：男子8,794名、女子1,081名、合計9,875名)。昨年度新設したミッドアマ選手権全日本の影響が大と思料されるが、平成20年度は再び1万名の大台を目指すとともに、今後三大メイン競技のパ選、シニア選手権、ミッドアマ選手権が共存共栄できるよう競技の拡充を目指したい。

(注) パ選は1万名の大台割れとなったが、主催競技全体の参加者人数は38,038名で、前年度比4,500名、13%増加した。

全日本の上位者2名には日本ゴルフ協会主催「日本アマチュアゴルフ選手権競技(平成20年7月8日(火)～12日(土) クラークカントリークラブ・西/東コース(北海道))」の出場資格が付与される。

◆競技日程

1. 予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
予選数	39	16	35	4	94

(1) 18ホールストロークプレー。

2.地区決勝

地 区	開催コース	開催日
1. 東日本 A	ウィンザーパークゴルフアンドカントリークラブ	5/13 (火) -14 (水)
2. 東日本 B	草津高原ゴルフ場	5/14 (水) -15 (木)
3. 東日本 C	セントレジャーゴルフクラブ市原	5/14 (水) -15 (木)
4. 中部日本	小杉カントリークラブ	5/20 (火) -21 (水)
5. 西日本 関西	グランドオークプレイヤーズコース	5/15 (木) -16 (金)
6. 西日本 中国	水島ゴルフリンクス	5/14 (水) -15 (木)
7. 西日本 四国	コート・ベール徳島ゴルフクラブ	5/20 (火) -21 (水)
8. 西日本 九州	瀬板の森北九州ゴルフコース	5/21 (水) -22 (木)
9. 北海道・青森	随縁カントリークラブ恵庭コース	8/25 (月) -26 (火)

(1) 出場資格者 : 各地区予選通過者180名、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー(2日間競技)。第1日目カットオフ120位タ

イ。

3.全日本

	開催コース	開催日
全日本	ダンロップゴルフコース	6/10 (火) -11 (水)

(1) 出場資格者 : 各地区決勝通過者180名、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー(2日間競技)。第1日目カットオフ120位タ

イ。

②平成20年度第8回全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技の開催

第1回大会以来、年々参加者数が増加し平成20年度は第8回大会を迎え、ますますの盛況を期待したい。第4回大会までは全日本男・女パブリックアマチュアゴルフ選手権競技の名称で男子部門、女子部門を同日・同会場で開催していたが、平成17年度第5回大会から女子部門が独立し、競技名称も全日本女子パブリックアマチュアゴルフ選手権競技に改称され、単独開催の競技会となり4年目を迎える。

平成18年度より全日本の上位者2名に日本ゴルフ協会主催「日本女子アマチュアゴルフ選手権競技(平成20年6月24日(火)～28日(土) 廣野ゴルフ倶楽部(兵庫県))」の出場資格が付与され、参加プレーヤーの夢が一段と大きく咲くことが期待される。

◆競技日程

1.予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合 計
予選数	31	6	30	3	70

(1) 18ホールストロークプレー。

2.地区決勝

地 区	開催コース	開催日
-----	-------	-----

1. 東日本	妻沼ゴルフ場	5/8 (木)
2. 中部日本	森林公園ゴルフ場	5/8 (木)
3. 西日本	北神戸ゴルフ場	5/9 (金)
4. 北海道・青森	随縁カントリークラブ恵庭コース	8/4 (月)

(1) 出場資格者 : 各地区予選通過者180名、及びシード選手。北海道・青森は別に定める。

(2) 18ホールストロークプレー。

3.全日本

	開催コース	開催日
全日本	八千代ゴルフクラブ	6/4 (水) -5 (木)

(1) 出場資格者 : 各地区決勝通過者180名、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー(2日間競技)。第1日目カットオフ120位タイ。

③平成20年度第2回全日本パブリックミッドアマチュアゴルフ選手権競技の開催

パブリック選手権はジュニア選手が上位を独占する傾向が近年顕著であり、年齢別部門を新た

に創設し最もアマチュアゴルファーの層が厚いミッド世代の腕前を競う競技として、平成17年度よ

り西日本ミッドアマ選手権を創設した。ミッド層に好評で支持を得ており、機も熟したので平成19

年度より全日本選手権とし、本年度は第2回大会となる。なお、本年度より地区決勝(東・中部・西

日本:2日間競技)を立ち上げる。

◆競技日程

1.予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
男子の部	30	10	27	4	71
女子の部	21	6	26	—	53

(1) 18ホールストロークプレー。

2.地区決勝

地区	開催コース	開催日
1. 東日本	ラ・ヴィスタゴルフリゾート	7/30 (水) -31 (木)
2. 中部日本	名古屋港ゴルフ倶楽部 富浜コース	7/30 (水) -31 (木)
3. 西日本	青野運動公苑アオノゴルフコース	7/29 (火) -30 (水)
4. 北海道・青森	随縁カントリークラブ恵庭コース	7/31 (木) -8/1 (金)

(1) 出場資格者 : 各地区予選通過者180名、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー（2日間競技）。第1日目カットオフ120位タイ。

3.全日本

	開催コース	開催日
全日本	千葉よみうりカントリークラブ	8/20（水）-21（木）

(1) 出場資格者：各地区決勝通過者180名、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー（2日間競技）。第1日目カットオフ120位タイ。

④平成20年度第14回全日本シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技の開催

男子シニア、女子シニア選手権競技とも第14回大会、ミッドシニア選手権競技は第5回大会を

迎えるが、シニア層に定着してきた。平成17年度から男子シニアと女子シニア・男子ミッドシニア競技が分離開催となり、ますます充実した競技会に模様替えした。また、全日本シニアの上位者2名には、日本ゴルフ協会主催の「日本ゴルフシニア選手権競技平成20年11月12日（水）～14日（金）西宮カントリークラブ（兵庫県）」の出場資格が付与されたことを梃子に、積極的に告知し参加を呼びかけたい。

◆競技日程

1.予選

地区	東日本	中部日本	西日本	北海道・青森	合計
予選数	28	11	30	3	72

(1) 18ホールストロークプレー。

2.地区決勝

地区	開催コース	開催日
東日本	セントレジャーゴルフクラブ千葉	9/17（水）-18（木）
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	9/18（木）-19（金）
西日本	武庫ノ台ゴルフコース	9/25（木）-26（金）
北海道・青森	随縁カントリークラブ恵庭コース	8/4（月）

(1) 出場資格者：各地区予選通過者180名、及びシード選手。北海道・青森は別に定める。

(2) 36ホールストロークプレー（2日間競技）。第1日目カットオフ120位タイ。北海道・青森は18ホールストロークプレー。

3.全日本

	開催コース	開催日
全日本	よみうりゴルフ ウエストコース	10/22（水）-23（木）

(1) 出場資格者：各地区決勝通過者180名、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー(2日間競技)。第1日目カットオフ120位タイ。

⑤平成20年度第14回全日本女子シニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技の開催

女子シニアと男子ミッドシニアは地区決勝・全日本を同日・同会場で開催するが、男子シニアとの

別開催により地区決勝・全日本の進出枠が広がった。また、地区決勝は1日競技であるが全日本

は2日間競技へと拡充された。

◆競技日程

1.予選

地区	東日本	中部日本	西日本	合計
予選数	23	8	26	57

(1) 18ホールストロークプレー。

2.地区決勝

地区	開催コース	開催日
東日本	三井の森軽井沢カントリー倶楽部	9/26(金)
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	9/25(木)
西日本	米子ゴルフ場	9/17(水)

(1) 出場資格者 : 各地区予選通過者180名(女子シニア及び男子ミッドシニアの合計)、及びシード選手。

(2) 18ホールストロークプレー。

3.全日本

	開催コース	開催日
全日本	富士見高原ゴルフコース	10/15(水)-16(木)

(1) 出場資格者 : 各地区決勝通過者180名(女子シニア及び男子ミッドシニアの合計)、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー(2日間競技)。第1日目カットオフ120位タイ。

⑥平成20年度第5回全日本ミッドシニアパブリックアマチュアゴルフ選手権競技の開催

平成17年度よりミッドシニア層(65歳以上)の要望に応え、高齢者ゴルファーが参加し易い競技に

すべく、男子部門のみであるが予選から全日本まで通して独立した競技会とする改善を

実行したが、一層の参加者の増大を期待する。

◆競技日程

1.予選

地 区	東日本	中部日本	西日本	合 計
予選数	24	11	30	65

(1) 18ホールストロークプレー。

2.地区決勝

地 区	開催コース	開催日
東日本	三井の森軽井沢カントリー倶楽部	9/26 (金)
中部日本	名古屋広幡ゴルフコース	9/25 (木)
西日本	米子ゴルフ場	9/17 (水)

(1) 出場資格者 : 各地区決勝通過者180名(女子シニア及び男子ミッドシニアの合計)、及びシード選手。

(2) 18ホールストロークプレー。

3.全日本

	開催コース	開催日
全日本	富士見高原ゴルフコース	10/15 (水) -16 (木)

(1) 出場資格者 : 各地区予選通過者180名(女子シニア及び男子ミッドシニアの合計)、及びシード選手。

(2) 36ホールストロークプレー(2日間競技)。第1日目カットオフ120位タイ。

⑦いきいきゴルフ300歳大会の開催

「いきいきゴルフ300歳大会」は、日本スーパーシニアゴルフ協会(仙台市)が育ててきた「100歳

まで元気、100歳でエージシュート」をモットーとする大会です。競技は(1)団体戦:いきいきゴルフ300歳大会(金さん組、銀さん組)、(2)個人戦:いきいきゴルフエイジシューティング大会があり、エージハンディキャップ方式(年齢をハンディキャップとする)により順位を決定するという大変ユニークな大会です。

当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、高齢者の健康の保持増

進の観点から、テーマ「続けようゴルフを」のお手本競技として後援している。平成17年度は10大会(団体戦3、個人戦7)参加者数500名、平成18年度は26大会(団体戦4、個人戦22、個人戦全国決勝大会を含む)同1,266名、平成19年度は29大会(団体戦6、個人戦22、個人戦全国決勝大会)同1,216名である。平成20年度の開催予定は次の通りであるが、今後ますます元気なスーパーシニアのプレーの場として、全国展開を目指す。

◆競技日程

1.予選（予選開催数）

競 技	東日本	中部日本	西日本	合 計
エイジシューティング大会（個人戦）	10	5	11	26
いきいきゴルフ300歳大会(団体戦)	3	2	2	7
合 計	13	7	13	33

(1) 18ホールストロークプレー。

(2) エージハンディキャップ方式（年齢をハンディキャップとする）により順位決定。

(3) ゴールドティ使用。

2.全国決勝大会

競 技	開催コース	開催日
エイジシューティング大会（個人戦）	青野運動公苑アオノゴルフコース	10/3(金)

(1) 競技方法：予選と同じ。

(2) いきいきゴルフ300歳大会(団体戦)全国決勝大会は、日本スーパーシニアゴルフ協会主催で

10/8(金) 西仙台カントリークラブで開催される。

⑧アンダーハンディ競技(PGS スポンサー杯・PGS ハンディ杯)の開催

◆開催要項

1.参加資格

競 技	参加資格	競技方法
1.PGS スポンサー杯	PGS 会員。	18ホールストロークプレー アンダーハンディ競技。
2.PGS ハンディ杯	PGS 会員。	
3.グランドマンズリー	PGS スポンサー杯予選の上位者および各予選のベストグロス、シニア優勝者。	
4.ダンロップ杯決勝	ダンロップ杯予選の上位者、および各予選のベストグロス、シニア優勝者。	

(注)PGS会員：ハンディキャップの取得を目的とした当協会の会員で誰でも会員になれる。

2. 競技要項

(1) PGS スポンサー杯

PGS 会員を対象としたアンダーハンディ競技で、ダンロップ杯、ブリヂストン杯、サンレオ杯の3冠

競技がある。平成20年度はダンロップ杯43回、ブリヂストン杯23回、サンレオ

杯13回、合計79

回の予選が開催され、11月に東日本・中部日本および西日本の3地区で地区決勝大会を開催

する。平成19年度はPGSスポンサー杯、PGSハンディ杯で7,629人（予選～決勝参加者人数）の参加者を得た。

(2) PGSハンディ杯

PGS会員を対象とした当協会主催のアンダーハンディ競技。平成20年度は予選競技を29回開催する。

(3) グランドマンスリー

ダンロップ杯、ブリヂストン杯、サンレオ杯、PGSハンディ杯の各予選での上位者および各予選のベストグロス、シニア優勝者による決勝大会。

(4) ダンロップ杯決勝

ダンロップ杯予選での上位者およびベストグロス、シニア優勝者による決勝大会。

◆競技日程

1. 予選

予選数		東日本	中部日本	西日本	合計
PGSスポンサー杯	ダンロップ杯	16	7	20	43
	ブリヂストン杯	9	5	9	23
	サンレオ杯	5	4	4	13
PGSハンディ杯		13	8	8	29
合計		43	24	41	108

2. 地区決勝

(1) ダンロップ杯

地区	開催コース	開催日
東日本	昭和の森ゴルフコース	11/6(木)
中部日本	正眼寺カントリークラブ	11/6(木)
西日本	西宮北ゴルフコース	11/13(木)

(2) グランドマンスリー

地区	開催コース	開催日
東日本	市原ゴルフクラブ柿の木台コース	11/20(木)
中部日本	名古屋港ゴルフ倶楽部 富浜コース	11/19(水)
西日本	西神戸ゴルフ場	11/27(木)

⑨PGS月例杯の開催

PGS 月例杯はアンダーハンディ競技の充実を図るための、PGS 会員を対象としたアンダーハンディ競技である。以前は東日本、中部日本を含めて協会事業であったが、現在は西日本地区のみの単独開催となっている。今後 JGA ハンディキャップの取得推進、アンダーハンディ競技の充実との事業目的の観点からして、課題を整理の上協会事業とすべく体制整備が望まれる。

(1) 開催回数

	関西地区	中国地区	四国地区	九州地区	合計
開催数	65	53	24	44	186

(2) 参加資格 : PGS 会員で JGA または PGS ハンディキャップを取得している方。

(3) 競技方法 : 18ホール・ストロークプレー、アンダーハンディ競技。

■2.ゴルフを通じて高齢者の健康促進増進に資する。

(1) 競技会「いきいきゴルフ300歳大会」の開催

「いきいきゴルフ300歳大会」は、日本スーパーシニアゴルフ協会(仙台市)が育ててきた「100歳まで元気、100歳エージシュート」をモットーとする大会である。当協会はゴルフ市場活性化委員会(GMAC)の構成メンバーとして、テーマ「続けようゴルフを」のお手本競技として普及推進に努める。

■3.ゴルフを通じて青少年の健全な育成に資する。

(1) ジュニアゴルファー育成に向けた協会の取組み

青少年へのゴルフの普及振興を通じて、青少年の体力作りや健全な精神の育成を図る。ゴルフをすることによってマナーを守る、礼儀正しくする、自然にも親しむ等教育的メリットがあり、ライフスキルを学ぶにはゴルフは最適なスポーツである。ゴルフは青少年の健全な育成に有効な手段であり、今後ジュニアゴルファー育成を事業の一つの柱として取組むべく体制整備を行う。

(2) 日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)活動のバックアップ

日本ジュニアゴルファー育成協議会は、「ゴルフをツールとした子どもたちの健全育成」を原点に活動をしているが、更に活動を充実したものとするために、米国の「ザ・ファースト・ティ・プログラムの導入を検討している。ジュニアゴルファーの育成はゴルフ業界の裾野拡大が期待でき、業

界関係者が業界を挙げて取り組み、ひいては市場活性化、拡大化に向け行動する必要がある。

当協会は日本ジュニアゴルファー育成協議会の活動をバックアップしつつ、引き続きジュニアゴルファーの育成に注力して行きたい。

■4.ゴルファーの育成、底辺拡大施策の推進

(1) ジュニア、女性ゴルファーの育成、掘り起こし

ス業界の長期的展望は少子高齢化の加速や人口減から、市場規模は縮小化の方向にあり、引き続き経営環境は厳しいと予想される。この様な状況下ゴルフ業界は一層連携を強化し、新規ゴルファーの育成、需要創出が喫緊の課題であり、当協会もゴルフ市場の活性化に向け、様々な取組みを推進する。

(2) ス克蘭ブルゴルフの取組み

ジュニア、女性ゴルファーの掘り起こしを中心として、誰でも気軽にゴルフ場へ足を運んで貰える様な活性化施策を展開する。ゴルフ市場活性化委員会（GMAC）のテーマ「はじめようゴルフを」では、スクランブルゴルフが初心者・未経験者のラウンド初体験を促進するシステムとして有効と考えており、GMACでは活動目標の策定、並びにGMAC仕様のスクランブルゴルフを構築すべく最終的段階に来ている。当協会もGMACの構成メンバーとして連携して活動している。

■5.JGAハンディキャップの普及推進、並びにアンダーハンディ競技の活性化

(1) ゴルファーは自分のゴルフ技量を公式な同一規定に基づくハンディキャップで、正しく示す責

任がある。JGAハンディキャップは日本で唯一のオフィシャルハンディキャップであり、当協会は

アマチュアゴルファーの証とも言えるJGAハンディキャップの普及推進に一層努める。また、JGAハンディキャップによるアンダーハンディ競技の充実、活性化を推進する。

(2) 協会のハンディキャップに対する基本的考え方（平成18年度「J-sys検討委員会」結論）

① JGAハンディキャップの統一は、競技の適正、公正化が図れる点で意義がある。

またハンディキャップの統一化は全日本アンダーハンディ競技開催の前提条件である。

②当協会のアンダーハンディ競技はJGAハンディキャップにより開催することを再確認。また協会

加盟全コースにおいて、JGAハンディキャップの導入を実現すべく一層推進する。

③一部のプレーヤーからJGAハンディキャップを取得しても競技が少なくメリットが無いとの批判

があるが、真摯に耳を傾けアンダーハンディ競技の充実に向けた事業推進に努める。

(3) アンダーハンディ競技の充実

JGAハンディキャップの一層の推進のためには、アンダーハンディ競技の充実が必然的な施策

と考えている。この数年アンダーハンディ競技（スポンサー杯、PGSハンディ杯、およびPGS月例

杯）の参加者は減少傾向にあり、平成18年度も残念ながら改善の兆しを見出せなかった。最盛

時には年間1万名の参加実績もあり、何とか往年の競技会への復活を目指したい。JGAハンディ

キャップの普及推進と、アンダーハンディ競技の充実は両輪の関係にあり、協会内のJGAハンデ

ィキャップへの統一、並びにアンダーハンディ競技の一層の普及促進に注力すると共に、協会事

業の重点課題と位置付け適切な対策を講じたい。

■6.ゴルフ事業に関する調査・研究および報告、並びにセミナー・研修会の開催・参加

依然として厳しい経営環境下、会員各コースが実施するサービス向上のための改善策の提言等を

行う。既調査として「会員コースのサービス設備や施策の現状」、「女性ゴルファー来場者動向・薄

暮利用者動向に関するアンケート調査」、平成19年度は「パブリック選手権参加者のアンケート」

「会員のジュニアゴルファーの受入態勢アンケート」を実施したが、更に新しい切り口での調査、研

究を実施し、経営改善に係わる関連情報・具体的施策を会員コースに提供する。

(1) パブリックゴルフ場経営者、管理者に対する経営講演会の実施。

(2) 支配人およびコース管理技術者を対象としたセミナー、研修会の開催。

■7.ゴルフ市場活性化に向けた業界他団体との連携、交流

(1) 日本ゴルフサミット会議

日本ゴルフサミット会議が平成20年1月に開催され、次の平成20年度活動計画を決

定したが、当協会も歩調を合わせた活動を展開する。

- ①ゴルフ場利用税撤廃運動の継続。
- ②国家公務員倫理規定における「ゴルフ」の文言削除運動の継続。
- ③ゴルフ活性化に向けた入門ガイダンス web サイト「気になるゴルフ」の充実。
- ④楽しくゴルフをプレーしていただくためのキャンペーン活動の提言。

(2) ゴルフ市場活性化委員会 (GMAC)

ゴルフ業界の現況下、新たなゴルフ需要の創造と、ゴルフの健全成長に向けた様々な取組が展

開されている。ゴルフ市場活性化委員会 (GMAC) は平成15年10月に発表された『ゴルフ市場

活性化行動計画検討会報告書』に基づき、平成16年9月にゴルフ業界5団体により発足した。

「始めよう、続けよう、もっとゴルフを」のスローガンの下、(1)「スクランブルゴルフ」の提唱、(2)「いきいきゴルフ300歳大会」(日本スーパーシニアゴルフ協会主催)の後援、(3)「経済産業大臣杯全国チーム対抗戦」(日本ゴルフ場事業協会主催)の支援等、業界5団体合同の活動がスタートした。平成20年度は活動テーマ「始めようゴルフを」を掲げて一層活性化の流れを強化する。(注)構成団体：(財)日本ゴルフ協会、(社)日本ゴルフ場事業協会、(社)日本ゴルフ用品協会、(社)全日本ゴルフ練習場連盟および当協会

(3) 日本ジュニアゴルファー育成協議会(JGC)活動のバックアップ

日本ジュニアゴルファー育成協議会は、ゴルフをツールとした子どもたちの健全育成を原点に活動をしている。平成19年度より活動の更なる充実を指向して、米国の「ザ・ファースト・ティ・プログラム」の導入を検討している。ジュニアゴルファーの育成はゴルフ業界の裾野拡大、また青少年の健全育成の観点から、ゴルフ業界関係者が業界を挙げて取り組む必要があると思料される。

以上

平成 20 年度 収 支 予 算 書

平成 20 年 4 月 1 日より
平成 21 年 3 月 31 日まで

社団法人日本パブリックゴルフ場事業協会

平成 20 年度 収 支 予 算 書

平成20年 4月 1日より
平成21年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔I〕 事業活動収支の部				
I. 事業活動収入				
1 入会金収入	1,800,000	450,000	1,350,000	
正会員入会金収入	1,800,000	400,000	1,400,000	注 1
賛助会員入会金収入	0	50,000	-50,000	
2 会費収入	31,310,000	30,040,000	1,270,000	
正会員会費収入	30,310,000	29,040,000	1,270,000	注 2
賛助会員会費収入	1,000,000	1,000,000	0	注 3
3 事業収入	185,326,000	164,444,000	20,882,000	
(1) 調査・研究事業収入	0	0	0	注 4
(2) セミナー・研修事業収入	0	0	0	
① 産業セミナー	0	0	0	注 5
② 管理者指導者研修会	0	0	0	注 6
(3) 普及・啓発事業収入	240,000	240,000	0	
① 会報広告収入	240,000	240,000	0	注 7
(4) コースト査定事業収入	1,000,000	1,455,000	-455,000	注 8
(5) ハンディキャップ 査定事業収入	46,032,000	50,693,000	-4,661,000	
① PGS会員登録料 (PGS)	2,021,000	7,071,000	-5,050,000	注 9.10
② PGS会員登録料 (J-sys)	44,011,000	43,622,000	389,000	注11
(6) 競技開催事業収入	138,054,000	112,056,000	25,998,000	
① ハンディ選手権参加料	60,156,000	61,266,000	-1,110,000	注12
② シニア選手権参加料	21,624,000	20,748,000	876,000	注13
③ ミッドアマ競技参加料	32,160,000	17,418,000	14,742,000	注14
④ アンダーハンディ競技予選参加料	14,966,000	11,064,000	3,902,000	注15
⑤ アンダーハンディ競技決勝参加料	1,524,000	1,560,000	-36,000	注16
⑥ 月例杯競技参加料	0	0	0	
⑦ いきいきゴルフ30歳大会競技参加料	7,624,000	0	7,624,000	
⑧ ゴルフ振興事業	0	0	0	
4 雑収入	190,000	20,000	170,000	
(1) 受取利息収入	70,000	20,000	50,000	注17
(2) 雑収入	120,000	0	120,000	注18
事業活動収入計	218,626,000	194,954,000	23,672,000	

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
Ⅱ 事業活動支出				
1. 事業費支出	185,158,000	154,015,003	31,142,997	
(1) 調査・研究事業費支出	676,000	676,000	0	
会議費	636,000	636,000	0	注19
通信運搬費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	
その他費用	40,000	40,000	0	注20
(2) セミナー研修事業支出	1,028,000	1,155,000	-127,000	
① 産業セミナー開催費	453,000	520,000	-67,000	
セミナー給与手当	160,000	100,000	60,000	
〃 会場費	70,000	85,000	-15,000	注21
〃 諸謝費	223,000	335,000	-112,000	注22
〃 通信運搬費	0	0	0	
〃 印刷製本費	0	0	0	
〃 旅費交通費	0	0	0	
〃 その他費用	0	0	0	
② 管理者指導者研修費	575,000	635,000	-60,000	
管理 給与手当	160,000	100,000	60,000	
〃 会議費	265,000	235,000	30,000	注23
〃 通信運搬費	0	0	0	
〃 印刷製本費	0	0	0	
〃 旅費交通費	150,000	200,000	-50,000	
〃 その他費用	0	100,000	-100,000	
(3) 普及・啓発事業費支出	15,347,000	13,107,000	2,240,000	
① 会報の発行費	9,632,000	9,865,000	-233,000	
会 報 給与手当	1,950,000	1,000,000	950,000	
〃 制作費	5,175,000	4,080,000	1,095,000	注24
〃 発送費	2,407,000	4,685,000	-2,278,000	注25
〃 その他費用	100,000	100,000	0	
② 調査報告書の発行費	0	600,000	-600,000	
③ インターネット関連費	4,855,000	2,142,000	2,713,000	注26
④ パンフレット等の作成費	860,000	500,000	360,000	
広報パンフレット給与手当	160,000	0	160,000	
〃 制作費	700,000	450,000	250,000	注27
〃 その他費用	0	50,000	-50,000	
(4) コースレイト査定事業費支出	3,720,000	3,300,000	420,000	
① コースレイトの査定費	3,720,000	3,300,000	420,000	
コース査定給与手当	1,540,000	200,000	1,340,000	
コースレイト査定費	2,000,000	2,910,000	-910,000	注28
コース査定その他費用	180,000	190,000	-10,000	
(5) ハンディキャップ 査定事業費支出	32,202,000	34,954,628	-2,752,628	
① ハンデ査定継続運営費	32,202,000	34,954,628	-2,752,628	
ハンディ 給与手当	1,540,000	1,000,000	540,000	
J-sysカード 処理料	0	20,176,128	-20,176,128	
J-sysカード 登録料	18,254,000	0	18,254,000	注29
地区連絡橋運営費 (PGS)	270,000	942,800	-672,800	
ハンディ地区連絡運営費	10,600,000	10,535,700	64,300	注30
ハンディその他経費	1,538,000	2,300,000	-762,000	注31

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
(6) 競技開催費支出	128,773,000	97,582,375	31,190,625	
① パ選手権開催費支出	52,751,000	46,108,270	6,642,730	
パ選 給与手当	5,550,000	4,000,000	1,550,000	
〃 広報費	8,298,000	5,474,000	2,824,000	注32
〃 賞品費	16,417,000	17,713,120	-1,296,120	注33
〃 通信運搬費	2,874,000	3,352,000	-478,000	注34
〃 印刷製本費	2,471,000	2,121,150	349,850	注35
〃 旅費交通費	1,600,000	880,000	720,000	
〃 コース使用料	12,500,000	9,700,000	2,800,000	注36
〃 その他経費	3,041,000	2,868,000	173,000	注37
② シニア選手権開催費支出	24,668,000	24,273,250	394,750	
シニア 給与手当	2,900,000	2,000,000	900,000	
〃 広報費	3,025,000	3,550,000	-525,000	注38
〃 賞品費	6,748,000	7,181,450	-433,450	注39
〃 通信運搬費	1,429,000	1,940,000	-511,000	
〃 印刷製本費	1,348,000	2,301,800	-953,800	注40
〃 旅費交通費	1,000,000	500,000	500,000	
〃 コース使用料	6,700,000	6,700,000	0	注41
〃 その他経費	1,518,000	100,000	1,418,000	
③ ミッドアマ選手権開催費支出	22,887,000	10,872,880	12,014,120	
ミッドアマ 給与手当	4,360,000	2,000,000	2,360,000	
〃 広報費	3,325,000	1,450,000	1,875,000	注42
〃 賞品費	7,543,000	4,301,880	3,241,120	注43
〃 通信運搬費	1,756,000	420,000	1,336,000	
〃 印刷製本費	1,158,000	882,000	276,000	注44
〃 旅費交通費	650,000	200,000	450,000	
〃 コース使用料	2,900,000	1,500,000	1,400,000	注45
〃 その他経費	1,195,000	119,000	1,076,000	
④ アンダーハンディ競技予選開催費支出	13,859,000	11,294,975	2,564,025	
予選 給与手当	650,000	600,000	50,000	
〃 賞品費	4,341,000	3,020,150	1,320,850	注46
〃 PGSハンディ杯賞品費	6,687,000	5,877,825	809,175	注47
〃 通信運搬費	896,000	600,000	296,000	
〃 印刷製本費	1,205,000	869,000	336,000	注48
〃 その他経費	80,000	328,000	-248,000	
⑤ アンダーハンディ競技決勝開催費支出	5,009,000	4,837,660	171,340	
決勝 給与手当	650,000	500,000	150,000	
〃 賞品費	1,783,000	1,822,660	-39,660	注49
〃 通信運搬費	76,000	15,000	61,000	
〃 印刷製本費	0	0	0	
〃 旅費交通費	100,000	100,000	0	
〃 コース使用料	2,400,000	2,400,000	0	注50
〃 その他経費	0	0	0	
⑥ 月例杯競技開催費支出	159,000	195,340	-36,340	
月例杯 賞品費	0	0	0	
〃 その他経費	159,000	195,340	-36,340	注51

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
⑦いきいきゴルフ300歳大会開催費支出	8,964,000	0	8,964,000	
いきいきゴルフ 給与手当	640,000	0	640,000	
" 大会運営費	2,121,000	0	2,121,000	注52
" 賞 品 費	5,303,000	0	5,303,000	注53
" 旅費交通費	400,000	0	400,000	
" 全国決勝大会運営費	200,000	0	200,000	注54
" その他経費	300,000	0	300,000	
⑧ゴルフ振興事業	476,000	0	476,000	
ポスター制作費	95,000	0	95,000	注55
競技マニュアル制作費	181,000	0	181,000	注56
その他経費	200,000	0	200,000	
(7) 交流及び協力事業費支出	2,412,000	2,240,000	172,000	
① ゴ連協等関連費	2,352,000	1,700,000	652,000	
ゴ連協等給与手当	600,000	400,000	200,000	
" 諸会費	1,140,000	1,140,000	0	注57
" その他経費	612,000	160,000	452,000	注58
② ジュニアゴルファー育成事業費	60,000	60,000	0	注59
③ 活性化委員会活動費	0	480,000	-480,000	
(8) 助成金事業支出	1,000,000	1,000,000	0	
全国高等学校ゴルフ連盟	500,000	500,000	0	注60
日本ジュニアゴルファー育成協議会	500,000	500,000	0	注61
2. 管理費支出	29,989,000	34,232,919	-4,243,919	
給 与 手 当 支 出	6,800,000	8,363,400	-1,563,400	注62
法定福利費支出	2,253,000	1,302,415	950,585	注63
中退金掛金支出	540,000	180,000	360,000	注64
福利厚生費支出	100,000	250,000	-150,000	
会 議 費 支 出	4,525,000	4,750,000	-225,000	注65
旅費交通費支出	1,000,000	2,400,000	-1,400,000	
通 信 費 支 出	1,000,000	1,100,000	-100,000	
消 耗 品 費 支 出	700,000	700,000	0	
印 刷 費 支 出	1,420,000	950,000	470,000	
賃 借 料 支 出	4,587,000	4,586,400	600	注66
リ ー ス 料 支 出	1,806,000	1,827,984	-21,984	注67
什 器 備 品 支 出	500,000	500,000	0	
水道光熱費支出	600,000	500,000	100,000	
交 際 費 支 出	100,000	200,000	-100,000	
慶 弔 費 支 出	600,000	30,000	570,000	
顧 問 料 支 出	1,578,000	1,200,000	378,000	注68
租 税 公 課 支 出	480,000	570,000	-90,000	注69
業 務 委 託 費 支 出	900,000	3,822,720	-2,922,720	注70
雑 支 出	500,000	1,000,000	-500,000	
事業活動支出計	215,147,000	188,247,922	26,899,078	
事業活動収支差額	3,479,000	6,706,078	-3,227,078	

(単位：円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備 考
〔Ⅱ〕投資活動収支の部				
Ⅰ 投資活動収入	0	0	0	
Ⅱ 投資活動支出	2,000,000	2,000,000	0	
50周年事業引当預金支出	2,000,000	2,000,000	0	注71
投資活動収支差額	-2,000,000	-2,000,000	0	
〔Ⅲ〕財務活動収支の部				
Ⅰ 財務活動収入	0	0	0	
Ⅱ 財務活動支出	0	0	0	
財務活動収支差額	0	0	0	
〔Ⅳ〕予備費支出	1,000,000	3,000,000	-2,000,000	
当期収支差額	479,000	1,706,078	-1,227,078	
前期繰越収支差額	24,000,000	40,762,000	-16,762,000	
次期繰越収支差額	24,479,000	42,468,078	-17,989,078	

以上のとおりです。

平成20年 3月

社団法人 日本パブリックゴルフ場事業協会

理事(会長)	浅井光昭
理事(副会長)	石井信成
理事(副会長)	三治明
理事(副会長)	西村潔
理事(専務理事)	島田忠次
理事(常任理事)	安藤充
理事(常任理事)	林一郎
理事(常任理事)	笠原泰夫
理事(常任理事)	加藤義孝
理事(常任理事)	白石喜和
理事(常任理事)	砂川克雅
理事(常任理事)	安水恭徳
理事	岡本信之
理事	柿沼正行
理事	川田達男
理事	木村妙子
理事	久保田誠一
理事	越野勝彦
理事	小林寛道
理事	小林弘実
理事	丹治保堯
理事	中元紘一郎
理事	森田敬
理事	雪野智世

平成20年度収支予算書説明

〔I〕事業活動収支の部

I. 事業活動収入

(単位：円)

科 目	注	予 算 額	説 明
1 入会金収入		[1,800,000]	
正会員	1	1,800,000	20万円×9事業所：トビア栃木、津軽、他7事業所
賛助会員		0	
2 会費収入		[31,310,000]	
正会員	2	30,310,000	年40万円×54事業所 =2,160万円(18H以上) 年28万円×12事業所*1= 336万円(3条3項①冬期休業4ヶ月以下) 年20万円×4事業所*2= 80万円(3条3項②冬期休業5ヶ月以上) 年20万円×5事業所*3= 100万円(18H未満) 年20万円×10事業所*4= 200万円(3条2項同一会員) 年10万円×2事業所*5= 20万円(") (H19年度末現在)75事業所(87コース)2,896万円…(A) 年40万円×6事業所=240万円 年20万円×1事業所= 20万円 年10万円×2事業所= 20万円 <u>20年度入会事業所 270万円…(B)</u> ・入会当初1年間の会費減額(追加規定) 19年度入会の事業所 (2コース) -0万円…(C) 20年度入会の事業所 (9コース) -135万円…(D) 差引合計 3,031万円…(A+B-C-D)
賛助会員	3	1,000,000	年20万円×5事業所=100万円

- *1 県民(山形)、清里、富士(山中湖)、小淵沢、富士見高原、篠ノ井、新潟クラブ、小松小杉、京都大原、湯村、奥津
- *2 草津高原、随緑・ニセコ、三井の森
- *3 伏見桃山、六甲国際、シサイト坂出、旭、たかはる
- *4 市原柿の木台、千葉グリーンパーク、西神戸、鞍手、定光寺、馬頭、水戸、勝浦、米子、城島後楽園
- *5 札幌、鯉ヶ沢

(単位：円)

科	目	注	予 算 額	説 明
3	事業収入		[185,326,000]	
(1)	調査・研究 事業収入	4	(0)	
(2)	セミナー研修 事業収入		(0)	
	① 産業セミナー	5	0	
	② 管理者指導者 研修会	6	0	
(3)	普及・啓発 事業収入		(240,000)	
	① 会報	7	240,000	広告収入 3万円×4社×年2回=24万円
(4)	コースレート査定 事業収入	8	(1,000,000) 1,000,000	コースレート査定費の会員事業所負担額 〔注28参照〕
(5)	ハンディキャップ 査定		(46,032,000)	
	① PGS 会員登録料 (PGS:新規)	9	114,000	@1,500円×76人=114,000円 (19年度見込 @1,500円×678人) (18年度実績 @1,000円×2,284人)
	② PGS 会員登録料 (PGS:継続)	10	1,907,000	@1,500円×1,271人=1,906,500円 (19年度見込 @1,500円×2,079人) (18年度実績 @1,000円×6,073人)
	③ PGS 会員登録料 (J-sys)	11	44,011,000	(東)@2,000円×10,915人=21,830,000円 (中)@1,500円×4,866人=7,299,000円 (西)@1,500円×9,921人=14,881,500円 <u>計(延25,702人) 44,010,500円</u> (19年度見込 23,968人) (18年度実績 21,774人)
(6)	競技開催 事業収入		(138,054,000)	
	① パ選 競技参加料	12	60,156,000	(男)@6千円×8,910人=53,460,000円 (女)@6千円×1,116人=6,696,000円 (19年度実績 男@6千円×8,814人 女@4千円×1,090人) (18年度実績 男@6千円×9,330人 女@4千円×1,175人)
	② シニア競技参加料	13	21,624,000	@6千円×3,604人=21,624,000円 (19年度実績 予選@6千円×3,577人) (18年度実績 予選@3千円×4,322人、決勝@5千円×941人)
	③ ミッドアマ 競技参加料	14	32,160,000	@6千円×5,360人=32,160,000円 (19年度実績 予選@6千円×5,094人) (18年度実績 予選@3千円×1,491人、決勝@2千円×179人)
	④ アンダーハンディ 予選参加料	15	14,966,000	@1.5千円×9,977人=14,965,500円 (19年度実績 6,837人) (18年度実績 6,790人)
	⑤ アンダーハンディ 決勝参加料	16	1,524,000	@2千円×762人=1,524,000円 (19年度実績 719人) (18年度実績 752人)
	⑥ いきいきゴルフ 300歳大会競技 参加料		7,624,000	予選@3.5千円×2,046人=7,161,000円 決勝@3.5千円×75人=262,500円 <u>計 7,423,500円</u> (19年度実績 予選 1,216人、決勝 53人) (18年度実績 予選 1,204人、決勝 62人) 日本スーパーシニアゴルフ協会からの運営費補助 200,000円
4	雑収入		[190,000]	
(1)	受取利息等	17	70,000	定期預金利息
(2)	その他収入	18	120,000	規則書等の実費頒布等
	事業活動収入計		218,626,000	

Ⅱ. 事業活動支出

(単位：円)

科 目	注	予 算 額	説 明
1 事業費支出		[185,158,000]	
(1) 調査・研究 事業費支出		(676,000)	
会議費	19	636,000	[コース管理地区別研修会] 会場費 33 万円、その他諸経費 30.6 万円
その他の科目	20	40,000	講師謝礼、その他
(2) セミナー研修 等事業支出		(1,028,000)	
① 産業セミナー開催費		453,000	
セミナー会場費	21	70,000	セミナー会場費 7 万円
セミナー諸謝費	22	223,000	セミナー講師謝礼
その他の科目		160,000	給与手当 16 万円
② 管理者指導者 研修費		575,000	
管理会議費	23	265,000	賛助会員研修会 1 回/年他
その他の科目		310,000	給与手当 16 万円、旅費交通費 15 万円
(3) 普及・啓発 事業費支出		(15,347,000)	
① 会報の発行費		9,632,000	
会報制作費	24	5,175,000	印刷・編集・製本(秋) 35,000 部×@25 円= 980,000 円 (新年) 45,000 部×@31 円=1,395,000 制作費(記者、カメラマン、原稿代等) 2,800,000
			計 5,175,000 円
会報発送費	25	2,407,000	協会負担送料
その他の科目		2,050,000	給与手当 195 万円他
② 調査報告書の 発行費		0	
③ インターネット関連費	26	4,855,000	HP リニューアル・ソフト開発費用 378 万円、告知掲載料 33 万円、 サーバー・レンタル料 36 万円、HP 保守料 24 万円他
④ パンフレット等の作成費		860,000	
広報パンフ制作費	27	700,000	協会 PR パンフ作成@1,400×500 部
その他の科目		160,000	給与手当 16 万円

科 目	注	予 算 額	説 明
コース使用料	36	12,500,000	競技会運営費 男子 (地区決勝) 東 3 300 万円 (") 中 1 100 (") 西 4 400 (北海道・青森) 1 30 (全日本) 1 130 女子 (地区決勝) 東 1 50 (") 中 1 50 (") 西 1 50 (北海道・青森) 1 30 (全日本) 1 110 <hr/> 計 1,250 万円
その他経費	37	3,041,000	全日本男子会議費・研修費 620,000 円 全日本女子 " 620,000 合同委員会 220,000 富士テレコムリース料(3)台 698,000 トランシーバー・スクリーンレンタル料 70,000 横断幕他 193,000 参加料振込手数料 620,000 <hr/> 計 3,041,000 円
その他の科目		7,150,000	給与手当 555 万円、旅費交通費 160 万円

科 目	注	予 算 額	説 明
②シニア選手権開催費支出		24,668,000	
シニア広報費	38	3,025,000	記者発表会 50万円×3地区(東・中・西)=150万円 ゴルフ専門誌告知 152.5万円(ダビエスト 52.5万円、パークゴルフ 42万円 ゴルフマガイ 31.5万円、制作費他 26.5万円)
シニア賞品費	39	6,748,000	予選参加賞 ホール(3個) 2,894,000円(@782×3,700) 決勝参加賞 ネームタグ 851,040 (@788×1,080) 全日本参加賞 ネームタグ(名入) 352,800 (@980×360) 予選マダリスト マタル盾 971,604 (@4,932×197) 地区決勝優勝者 レプリカ 485,000 (11個) 全日本優勝者 〃 152,000 (3個) 地区決勝上位 木製マタル盾 323,000 (32個) 全日本上位者 丸盆置物 129,000 (10個) 地区上位者 シュースケース 508,000 (145個) 本 杯 北海道・青森 79,000 (1個) 計 6,745,444円
印刷製本費	40	1,348,000	ポスター(大 600部、小 3,000部) 33.6万円 申込書(51,000部) 87.6万円 スコアカード(3,000部) 7.2万円 代行発送封筒代他 6.4万円
コース使用料	41	6,700,000	シニア男子(地区決勝)東 1 100万円 (〃)中 1 100 (〃)西 1 100 (全日本) 1 110 シニア女子(地区決勝)東 1 50 (ミッドシニア)(〃)中 1 50 (〃)西 1 50 (全日本) 1 110 計 670万円
その他の科目		6,630,000	給与手当 290万円、通信運搬費他 373万円、参加料振込手数料 21.7万円
③ミッドアマ選手権開催費支出		22,887,000	
ミッドアマ広報費	42	3,325,000	記者発表会 1,800,000円(60万円×3地区、30万円×1北海道・青森) ゴルフ雑誌告知 1,525,000(制作費 265,000円、ゴルフダビエスト誌 525,000円 ゴルフマガイ誌、315,000円、パークゴルフ誌 420,000円) 計 3,325,000円
ミッドアマ賞品費	43	7,543,000	予選参加賞 ホール(3個) 4,301,000円(@782×5,500) 地区決勝参加賞 名入ネームタグ 567,360 (@788×720) 全日本参加賞 〃 176,400 (@980×180) 予選マダリスト 木製盾 611,568 (@4,932×124) 地区優勝者 レプリカ 304,000 (男子4、女子3) 全日本優勝者 〃 99,000 (男子1、女子1) 地区予選上位 木製マタル 201,100 (@10,055×20) 全日本上位者 丸盆置物 76,000 (男子4、女子2) 地区上位者 シュースケース 367,500 (@3,500×105) 全日本本杯 本杯 835,000 (@378,000×2東・西、 @78,750×1北青) 計 7,538,928円
印刷製本費	44	1,158,000	ポスター(大 500部) 153,000円 〃(小 3,000部) 186,000 申込書(55,000部) 660,000 スコアカード他 159,000 計 1,158,000円
コース使用料	45	2,900,000	(地区決勝) 150万円(東・中・西) (〃) 30 (北海道・青森) (全日本) 110 計 290万円
その他の科目		7,639,000	給与手当 436万円、通信運搬費他 327.9万円、参加料振込手数料 32.2万円

(単位:円)

科目	注	予算額	説明
④アンダーハンドィ競技予選開催費		13,859,000	
支出			
予選賞品費	46	4,341,000	参加賞 ボール 3,713,000円 (7,070個) 上位入賞 ブロンズ 628,000 (199個) 計 4,341,000円
PGSハンドィ杯賞品費	47	6,687,000	参加賞 ボール 899,000円 (1,711個) 上位入賞 ブロンズ 220,000 (29開催×2) 賞品費 5,568,000 (29開催) 計 6,687,000
印刷製本費	48	1,205,000	日程表・小冊子 1,105,000円 (@17円×65,000部) 領収書綴 100,000 (@1,000×100) 計 1,205,000円
その他の科目		1,626,000	給与手当65万円、通信運搬費89.6万円也
⑤アンダーハンドィ競技決勝開催費		5,009,000	
支出			
決勝賞品費	49	1,783,000	参加賞 ネームタグ 500,500円 (@650×770) 賞品費 クラブバック等 980,000 (男子1～15位×3クラス、BG・シニア×2クラス) 地区決賞 カップ 302,000 (男子1位～3位各6個、女子1位～3位各3個、シニア1位×1、女子シニア1位×1) 計 1,782,500円
コース使用料	50	2,400,000	競技運営費(1日開催) タニロップ 3回(東・中・西) グラントマンズリー 3 (東・中・西) 計 6回 40万円×6回=240万円
その他の科目		826,000	給与手当65万円他
⑥月例杯競技開催費支出		159,000	
月例賞品費		0	
その他の科目	51	159,000	月例杯ポスター(600部) 159,000円
⑦いきいきゴルフ300歳大会			
開催費支出		8,964,000	
大会運営費	52	2,121,000	日本SS協会 @1,000×2,121人
賞品代他	53	5,303,000	賞品代 (予選) 2,646,000円 (2,046名) " (決勝) 75,000 (75名) パーティ費 (予選) 3,069,000円 (2,046名) " (決勝) 112,500 (75名) 計 5,302,500円
全国決勝大会運営費	54	200,000	全日本(個人戦)1コース
その他の科目		1,340,000	給与手当64万円、旅費交通費他70万円
⑧ゴルフ振興事業		476,000	
ポスター制作費	55	95,000	ポスター 57,600円(@300×96コース×2枚)、他送料等
競技マニュアル制作費	56	181,000	マニュアル 144,000円(@300×96コース×5部)、他送料等
その他の科目		200,000	その他経費 20万円

科 目	注	予算額	説 明
(7) 交流及び協力事業費支出		(2,412,000)	
① ゴ連協等関連費		2,352,000	
ゴ連協等諸会費	57	1,140,000	(財) 日本ゴルフ協会 30 万円 (社) スポーツ産業団体連合会 24 日本ゴルフ関連団体協議会 50 ゴルフサミット 10
			計 114 万円
その他経費	58	612,000	ゴルフフェアPGSハ゜ル制作費、経産大臣杯ホ゜スター送料他
その他の科目		600,000	給与手当60万円
② ジュニアゴルフアー育成事業費	59	60,000	日本ジュニアゴルフアー育成協議会(JGC) 会費 6万円
(8) 助成金支出		(1,000,000)	
全国高等学校ゴルフ連盟	60	500,000	全国高等学校ゴルフ連盟助成金 50 万円
日本ジュニアゴルフアー育成協議会 (JGC)	61	500,000	JGC助成金 50 万円

(単位：円)

科 目	注	予 算 額	説 明
2 管理費		29,989,000	
給料手当	62	6,800,000	事務局職員給与(専務・事務局長・次長・部長・男子1名・女子2名) 総額 27,660,000円 …………… (A) [事業費への配賦分] 1. セミナー研修等事業費 320,000円 2. 普及及び啓発事業費 会報 1,950,000 広報パンフ作成 160,000 3. イベント開催等事業費 コースト査定費 1,540,000 イベント/ハンディ査定 1,540,000 競技/パ 選 5,550,000 /シニア 2,900,000 /ミッドアマ 4,360,000 /アンダーハンディ予選 650,000 /アンダーハンディ決勝 650,000 /いきいきゴルフ 640,000 4. 交流及び協力事業費 600,000 事業費計 20,860,000円 … (B) [管理費給与] 6,800,000円 … (A-B)
法定福利費	63	2,253,000	社会保険料事業主負担分
中退金掛金	64	540,000	中小企業退職事業団掛金
会議費	65	4,525,000	通常総会・第1回理事会 1,250,000円 第2回理事会・第1回幹部会 1,000,000 第3回理事会・第2回幹部会 1,200,000 第4回理事会 735,000 正副委員長会議 320,000 財務委員会 20,000 計 4,525,000 (注)事業・競技・HDCP 合同委員会、競技役員会は各競技開催費で予算計上。
賃借料	66	4,587,000	協会事務局賃借料 月 382,200円×12ヶ月=4,586,400円
リース料	67	1,806,000	パソコン2台、コピー機、電話設備、のリース代及び保守料
顧問料	68	1,578,000	公認会計士、社会保険労務士
租税公課	69	480,000	消費税および住民税均等割
業務委託費	70	900,000	公益法人化コンサルティング業務委託費
その他の科目		6,520,000	
事業活動支出合計		215,147,000	

〔Ⅱ〕投資活動収支の部

(単位：円)

科 目	注	予 算 額	説 明
I 投資活動収入		0	
II 投資活動支出		2,000,000	
50周年事業引当預金支出	71	2,000,000	50周年事業に係る特定預金の組入れ ○50周年事業計画の概要 50周年年史の出版(平成23年度出版予定) 所要予定総額 1,000万円 ○特定預金の組入計画 平成19～23年度 1,000万円(各年度200万円×5年)

〔Ⅲ〕財務活動収支の部

(単位：円)

科 目	注	予 算 額	説 明
I 財務活動収入		0	
II 財務活動支出		0	

平成20年度収支予算書収支ダイジェスト(案)

(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

事業内容	収入の部	支出の部			当期収支差額
		諸経費	人件費の配賦	計	
(1)調査及び研究事業支出	0	676,000	0	676,000	-676,000
(2)セミナー研修等事業支出	0	955,000	200,000	1,155,000	-1,155,000
①産業セミナー	0	420,000	100,000	520,000	-520,000
②管理者指導者研修会	0	535,000	100,000	635,000	-635,000
(3)普及及び啓発事業支出	240,000	12,107,000	1,000,000	13,107,000	-12,867,000
①会報の発行	240,000	8,865,000	1,000,000	9,865,000	-9,625,000
②調査報告書の発行	0	600,000	0	600,000	-600,000
③インターネット関連	0	2,142,000	0	2,142,000	-2,142,000
④パンフレット等の作成費	0	500,000	0	500,000	-500,000
(4)コースト査定事業費支出	1,455,000	3,100,000	200,000	3,300,000	
(5)ハンディ査定事業費支出	50,693,000	33,954,628	1,000,000	34,954,628	15,738,372
(6)競技開催費支出	112,056,000	88,482,375	9,100,000	97,582,375	14,473,625
①ハ選手権	61,266,000	42,108,270	4,000,000	46,108,270	15,157,730
②シニア選手権	20,748,000	22,273,250	2,000,000	24,273,250	-3,525,250
③ミッドアマ選手権	17,418,000	8,872,880	2,000,000	10,872,880	6,545,120
④アンダーハンディ競技予選	11,064,000	10,694,975	600,000	11,294,975	-230,975
⑤アンダーハンディ競技決勝	1,560,000	4,337,660	500,000	4,837,660	-3,277,660
⑥月例杯競技	0	195,340	0	195,340	-195,340
(7)交流及び協力	0	1,840,000	400,000	2,240,000	-2,240,000
(8)助成金支出	0	1,000,000	0	1,000,000	-1,000,000
仮計イ	164,444,000	142,115,003	11,900,000	154,015,003	10,428,997
入会金収入	450,000	0	0	0	450,000
会費収入	30,040,000	0	0	0	30,040,000
雑収入	20,000	0	0	0	20,000
管理費	0	25,869,519	8,363,400	34,232,919	-34,232,919
仮計ロ	30,510,000	25,869,519	8,363,400	34,232,919	-3,722,919
計イ+ロ	194,954,000	167,984,522	20,263,400	188,247,922	6,706,078
[投資活動収支の部]	0	2,000,000	0	2,000,000	-2,000,000
[財務活動収支の部]	0	0	0	0	0
[予備費支出]	0	3,000,000	0	3,000,000	-3,000,000
総計	194,954,000	172,984,522	20,263,400	193,247,922	1,706,078